

科目名	地域福祉の理論と方法Ⅱ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	岡 部 由紀夫						
開講年次	4	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	現在の社会福祉による援助・支援においては、生活の基盤となる地域という視点は重要である。本講座では、その地域に焦点を当てたソーシャルワークとその基盤作りの方法について、理論的整理を行い、かつ現代社会の状況を把握しつつ、制度的流れと福祉コミュニティづくりの考え方について理解を深めることができるよう説明する。						
授 業 の 到達目標	1. 地域を基盤としたソーシャルワークの基本的性格について説明できる 2. 地域で展開される援助・支援について理解できる 3. 地域福祉の基盤づくりの視点や理論、プログラムについて説明できる 4. 地域福祉の基盤づくりを担う地域住民や団体・人材、財源について理解できる 5. 地域福祉の課題や今後のあり方について主体的に考え、展望することができる						
学習方法	パワーポイントや板書による講義を中心に、視聴覚教材等も用いて理解を深める。						
テキスト及 び参考書等	講義中にテキスト・参考書を紹介する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎	○			50	
小テスト等	◎	○	○			20	
宿題・授業外レポート							
授業態度	○	○	◎			15	
受講者の発表							
授業への参加度	○	○	◎			15	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	地域を基盤としたソーシャルワーク①：基本的性格						
第 2 週	地域を基盤としたソーシャルワーク②：個と地域の関係性						
第 3 週	地域を基盤としたソーシャルワーク③：権利擁護の推進						
第 4 週	地域を基盤としたソーシャルワーク④：予防的支援とインフォーマルサポート						
第 5 週	地域を基盤としたソーシャルワーク⑤：評価の視点						
第 6 週	地域福祉の基盤づくり①：基盤づくりの視点						
第 7 週	地域福祉の基盤づくり②：歴史的背景と発展過程						
第 8 週	地域福祉の基盤づくり③：基盤づくりの理論						
第 9 週	地域福祉の基盤づくり④：地域住民の参加と協働						
第 10 週	地域福祉の基盤づくり⑤：福祉教育の展開						
第 11 週	地域福祉の基盤づくり⑥：地域福祉援助を担う団体・人材と財源						
第 12 週	地域福祉の基盤づくり⑦：地域福祉計画と地域包括ケアシステム						
第 13 週	地域福祉の基盤づくり⑧：地域福祉援助のプログラム						
第 14 週	地域福祉の基盤づくり⑨：ネットワーク						
第 15 週	地域福祉推進のための課題と展望（まとめ）						
備 考	【授業外の学習】・講義後は、国家試験模擬問題・過去問題等に積極的に取り組み、理解を深めること 【その他】・出席回数が開講回数の2/3に満たない場合は、評価対象としない。						